

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 外国青年招致事業
-------------------	-----------------------

区分	番号	名 称						
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち						
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む						
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり						
小分類	1	特色ある教育活動の推進						
主要な施策	1	時代の変化に伴なう教育課題への対応						
事務事業番号	001	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td style="background-color: #FFC0CB;">事務事業コード</td> <td>52211001</td> <td style="background-color: #FFC0CB;">事業開始年度</td> <td>平成 2 年度</td> <td style="background-color: #FFC0CB;">事業終了年度</td> <td>平成 - 年度</td> </tr> </table>	事務事業コード	52211001	事業開始年度	平成 2 年度	事業終了年度	平成 - 年度
事務事業コード	52211001	事業開始年度	平成 2 年度	事業終了年度	平成 - 年度			

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	外国青年招致経費
------	------	------------	----------

部 名	教育部	グループ名	学校教育 G
-----	-----	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #FFFF00; margin: 0;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> <p>英語を使ったコミュニケーション能力の育成を図ることにより、国際化社会で活躍することができる人材の育成を図る。</p>
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #FFFF00; margin: 0;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> <p>生きた英語を指導する外国人英語指導助手（ALT）を配置し、小学校での外国語活動や中学校での英語指導を通して、英語を使ったコミュニケーション能力の育成等、外国語教育の充実を図る。また、地域レベルの国際交流を推進する。</p> <p>【事業内容】</p> <p>配置人数：2名</p> <p>外国人英語指導助手（ALT）の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校での外国語活動：合計198日</li> <li>・中学校での英語指導：合計200日</li> <li>・市民対象の英会話教室：2回</li> <li>・地域住民との交流：豊水祭りや地獄祭りへの参加等</li> </ul> <p>今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後はALTを増員し、2名体制から4名体制にすることで、学校に派遣する回数や地域での活動を増やし、市内の子ども達が英語力をつけ、コミュニケーション能力を高める機会を増やしていく。</li> </ul>
成果	<p style="background-color: #FFFF00; margin: 0;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> <p>国際化社会で活躍することができる人材の育成及び地域レベルの国際交流が推進される。</p>
根拠法令等	<p style="background-color: #FFFF00; margin: 0;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	授業実施校	校	目標値	13	13	13	13	13
			実績値	13				
	授業実施日数	日	目標値	210	210	210	210	210
			実績値	210				

## 事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	9,246	15,920	21,199	21,199	21,199	63,597
合 計			9,246	15,920	21,199	21,199	21,199	63,597
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	996	1,022			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		996	1,022			

## 担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 近年、英語教育の低年齢化が提唱されており、ALTに期待される役割は大きくなる。 生きた英語を学ぶ機会を確保するためにも、市が本事業を行うことは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 小学校の授業においても、国際教育、英語教育にALTが活用されており、英語への興味、関心を高める効果がある。 日常的に外国人ALTに接することで、文化、習慣の違いを、実体験として学ぶことができる。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ ALTと英語担当教諭の連携により、授業のレベルを引き上げることが可能。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 本事業は、(財)自治体国際化協会の協力のもと行っており、同協会との協議の中で、ALTの報酬額等が取り決められている。事業に係る予算付けの大部分は、ALTへの報酬、共済費などで、市の判断で削減が見込めない費用である。

## 担当グループによる評価

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	外国語教育の充実を図るとともに、国際交流を推進するためにも重要な事業である。
-----------	----------------------	--

## 総合的な評価（当該事務事業の方向性）

<b>維持</b>	備考
-----------	----

### 評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）